

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7927 URL <https://www.muto.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月12日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,429	4.4	1,074	78.2	1,458	38.5	1,078	65.0
2023年3月期第2四半期	12,862	31.6	603	100.3	1,053	236.1	653	219.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,251百万円( 5.8%) 2023年3月期第2四半期 2,127百万円( 388.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	151.97	—
2023年3月期第2四半期	90.92	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,634	18,015	59.4
2023年3月期	25,940	16,222	59.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 17,018百万円 2023年3月期 15,343百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	65.50	73.50
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	67.00	79.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	△2.2	1,800	3.1	1,800	△15.9	1,400	7.7	197.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	7,739,548株	2023年3月期	7,739,548株
2024年3月期2Q	643,141株	2023年3月期	647,266株
2024年3月期2Q	7,094,345株	2023年3月期2Q	7,186,607株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約が緩和され、訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の正常化が進んでおります。しかしながら、急激な円安の進行、原材料や半導体の供給不足・価格高騰などが続いており、依然として先行き不透明な状況にあります。

世界経済におきましては、行動制限の緩和により、米国を中心に景気は持ち直しつつあります。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、世界的な原材料や半導体の供給不足・価格高騰及び物流の混乱が続いております。加えて、パレスチナ・イスラエルにおいても情勢が緊迫化しており、世界経済への影響が懸念されております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、付加価値の高いミラーレスカメラが好調で、当社ではタイや中国でデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。自動車関連部品では、半導体不足等を背景とした得意先の生産調整による減産が落ち着き、需要・受注は増加傾向にあります。前期に好調だったプリンター部品におきましては、世界的な需要の減少に伴い、得意先からの受注が減少に転じております。電子ペン部品では、アフターコロナにおけるテレワークや在宅勤務の定着を背景に、需要の増加が続いております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い需要は拡大傾向にあり、得意先から安定的に受注を獲得しております。

このような経済環境の中、プラスチック成形事業を中心に新型コロナウイルスの感染拡大による影響が薄れ、得意先からの受注が増加し、売上高は増加いたしました。また、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、営業利益及び経常利益は増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、法人税等が1億8千3百万円増加したものの、前年度に計上した過年度決算訂正関連費用2億5千3百万円が無くなったため、増益となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は134億2千9百万円と前年同四半期と比べ5億6千7百万円(4.4%)の増収、営業利益は10億7千4百万円と前年同四半期と比べ4億7千1百万円(78.2%)の増益、経常利益は14億5千8百万円と前年同四半期と比べ4億5百万円(38.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億7千8百万円と前年同四半期と比べ4億2千4百万円(65.0%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、プリンター部品の受注は減少したものの、デジタルカメラ部品や自動車関連部品、電子ペン部品を中心とした得意先からの受注増加及び固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、増収・増益となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて128億5千7百万円と前年同四半期と比べ6億1千7百万円(5.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は10億9千2百万円と前年同四半期と比べ5億4千3百万円(99.2%)の増益となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、電子ペン部品や医療機器部品の売上高は堅調に推移しております。デジタルカメラ部品では、半導体不足を背景とした減産により受注は伸び悩みましたが、当期中の回復を見込んでおります。自動車関連部品においては、受注回復に時間を要しており、低調が続いております。また、原材料の値上げにより付加価値の圧迫が続いておりますが、価格転嫁に向けた交渉が進んでおります。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて4億6千4百万円と前年同四半期と比べ0百万円(0.1%)の増収となりましたが、セグメント損失(営業損失)は2千9百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)3百万円)となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、米中貿易摩擦の影響などを受け得意先からの受注が減少しており、前期に好調だった設計業務の売上高は減収傾向にあります。検査部門におきましては、得意先からの受注減少に伴い減収となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億4千8百万円と前年同四半期と比べ4千4百万円(22.9%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は1千2百万円と前年同四半期と比べ4千5百万円(79.2%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億1千1百万円増加し、195億8百万円となりました。現金及び預金が8億5千7百万円、受取手形及び売掛金が6億1千1百万円、原材料及び貯蔵品が3億2千3百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11億8千3百万円増加し、91億2千6百万円となりました。有形固定資産が11億6百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ26億9千4百万円増加し、286億3千4百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億6千3百万円増加し、80億1千万円となりました。電子記録債務が5億4千3百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億4百万円、賞与引当金が1億5千9百万円それぞれ増加し、短期借入金が4億7千7百万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億3千7百万円増加し、26億8百万円となりました。長期借入金が4億3千7百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ9億円増加し、106億1千8百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ17億9千3百万円増加し、180億1千5百万円となりました。利益剰余金が6億1千3百万円、為替換算調整勘定が10億3百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、90億9千8百万円となり、前年同四半期と比べ25億7千万円(39.4%)増加いたしました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益14億6千9百万円、非資金費用である減価償却費7億2千5百万円、仕入債務の増加額3億3千6百万円及び売上債権の増加額2億7千9百万円などにより、営業活動全体として22億2千1百万円の収入となり、前年同四半期と比べ収入が15億3千3百万円(223.1%)の増加となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出3億1千6百万円、有形固定資産の取得による支出14億8千8百万円及び定期預金の払戻による収入5億3千1百万円などにより、投資活動全体として13億3百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が5億4千6百万円(72.2%)の増加となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減額5億3百万円、長期借入金の返済による支出5億5千8百万円、配当金の支払額4億6千5百万円及び長期借入れによる収入11億円などにより、財務活動全体として4億5千4百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が4億3百万円(47.0%)の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

世界経済におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約の緩和が進み、欧米を中心に経済活動の正常化の動きが拡大しております。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢を起因とする世界的な原材料や半導体の供給不足・価格高騰及び物流の混乱は依然として続いており、加えて、パレスチナ・イスラエルにおいても情勢が緊迫化しており、当社の生産に影響が出る恐れがあります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による地政学的リスクなどに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,762,477	9,620,099
受取手形及び売掛金	4,667,798	5,279,201
電子記録債権	571,521	571,365
商品及び製品	869,874	800,126
仕掛品	1,156,291	1,080,871
原材料及び貯蔵品	1,466,365	1,789,447
未収入金	127,155	135,915
その他	377,095	231,710
貸倒引当金	△1,579	△440
流動資産合計	17,997,001	19,508,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,201,490	2,493,339
機械装置及び運搬具（純額）	2,652,705	2,732,704
土地	1,190,115	2,055,195
リース資産（純額）	129,684	139,156
建設仮勘定	404,176	337,522
その他（純額）	693,051	619,834
有形固定資産合計	7,271,224	8,377,753
無形固定資産	207,234	218,721
投資その他の資産		
投資有価証券	174,571	227,070
繰延税金資産	101,404	96,671
その他	190,995	206,153
貸倒引当金	△2,295	△125
投資その他の資産合計	464,676	529,771
固定資産合計	7,943,134	9,126,245
資産合計	25,940,136	28,634,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,341,595	2,333,286
電子記録債務	149,111	693,017
短期借入金	2,836,500	2,359,000
1年内返済予定の長期借入金	953,616	1,057,812
未払法人税等	109,885	209,684
賞与引当金	211,999	371,456
関係会社整理損失引当金	257,350	236,825
その他	786,816	749,307
流動負債合計	7,646,873	8,010,389
固定負債		
長期借入金	1,072,608	1,509,939
長期未払金	156,004	156,004
繰延税金負債	342,614	414,838
役員退職慰労引当金	29,904	31,579
退職給付に係る負債	342,315	361,265
その他	127,292	134,574
固定負債合計	2,070,738	2,608,200
負債合計	9,717,611	10,618,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,249,421
利益剰余金	9,936,528	10,550,136
自己株式	△477,957	△474,968
株主資本合計	13,893,700	14,513,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,926	102,504
為替換算調整勘定	1,399,157	2,402,228
その他の包括利益累計額合計	1,450,084	2,504,733
非支配株主持分	878,739	997,670
純資産合計	16,222,524	18,015,953
負債純資産合計	25,940,136	28,634,543



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,862,532	13,429,812
売上原価	10,643,606	10,672,856
売上総利益	2,218,926	2,756,955
販売費及び一般管理費	1,615,871	1,682,114
営業利益	603,054	1,074,841
営業外収益		
受取利息	62,239	65,933
受取配当金	3,511	3,670
為替差益	384,783	316,746
助成金収入	2,392	4,888
その他	14,713	14,345
営業外収益合計	467,640	405,585
営業外費用		
支払利息	17,487	18,943
その他	-	2,672
営業外費用合計	17,487	21,616
経常利益	1,053,208	1,458,810
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	49,485	20,025
固定資産売却益	457	1,485
補助金収入	-	3,000
特別利益合計	49,943	24,510
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	253,205	-
固定資産売却損	18,438	1,265
固定資産除却損	296	9,791
固定資産圧縮損	3,000	3,000
特別損失合計	274,940	14,056
税金等調整前四半期純利益	828,211	1,469,264
法人税等	137,068	320,669
四半期純利益	691,142	1,148,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,701	70,442
親会社株主に帰属する四半期純利益	653,440	1,078,151



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	691,142	1,148,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,854	51,577
為替換算調整勘定	1,446,543	1,051,585
その他の包括利益合計	1,436,689	1,103,163
四半期包括利益	2,127,831	2,251,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,047,519	2,132,800
非支配株主に係る四半期包括利益	80,312	118,957

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	828,211	1,469,264
減価償却費	740,654	725,535
有形固定資産除却損	296	9,791
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△387	△1,139
賞与引当金の増減額 (△は減少)	116,559	148,259
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,227	1,674
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,213	1,297
受取利息及び受取配当金	△65,750	△69,604
支払利息	17,487	18,943
有形固定資産売却損益 (△は益)	17,981	△219
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,195,776	△279,812
棚卸資産の増減額 (△は増加)	111,673	12,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	316,330	336,193
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,793	44,226
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△50,627	△20,524
過年度決算訂正関連費用	253,205	-
補助金収入	-	△3,000
固定資産圧縮損	-	3,000
その他	△169,894	△94,582
小計	903,609	2,301,824
利息及び配当金の受取額	65,756	69,615
利息の支払額	△17,437	△19,166
過年度決算訂正関連費用の支払額	△159,896	-
法人税等の支払額	△110,042	△159,671
法人税等の還付額	5,704	29,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	687,695	2,221,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,215,260	△316,666
定期預金の払戻による収入	1,182,947	531,766
有価証券の純増減額 (△は増加)	△9,955	-
有形固定資産の取得による支出	△692,605	△1,488,817
有形固定資産の売却による収入	3,188	3,003
無形固定資産の取得による支出	△11,509	△9,964
補助金の受取額	-	3,000
その他	△13,340	△25,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△756,536	△1,303,054
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△489,000	△503,500
長期借入れによる収入	300,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△526,808	△558,473
自己株式の取得による支出	-	△112
配当金の支払額	△75,148	△465,868
非支配株主への配当金の支払額	△60,420	△18,016
その他	△6,142	△8,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△857,519	△454,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	705,462	608,253
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△220,898	1,072,722
現金及び現金同等物の期首残高	6,749,382	8,026,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,528,484	9,098,863

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,227,936	441,794	192,800	12,862,532	—	12,862,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,003	22,016	—	34,019	△34,019	—
計	12,239,939	463,811	192,800	12,896,551	△34,019	12,862,532
セグメント利益又は損失(△)	548,333	△3,046	57,767	603,054	—	603,054

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,840,979	440,267	148,565	13,429,812	—	13,429,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,155	23,950	—	40,105	△40,105	—
計	12,857,135	464,217	148,565	13,469,917	△40,105	13,429,812
セグメント利益又は損失(△)	1,092,305	△29,504	12,039	1,074,841	—	1,074,841

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。